

ほしみる

松本市唯一の
プラネタリウムから天文情
報を発信!

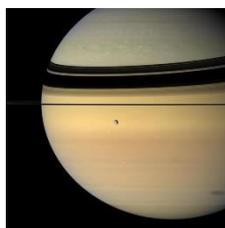
No.109 2024.12.1

2025 年も星空とともに

2025年の最も大きな天文現象は16年ぶりに起こる「土星の環の消失」です。また、秋には「皆既月食」が全国的に見られますが、未明から明け方と見づらい時間帯となります。

2025年の主な天文情報

- 1月 4日 **しぶんぎ座流星群が極大**(極大0時頃。月明かりがなく好条件)
りゅうせいぐん きょくだい ☆2
- 1月 10日 **金星が東方最大離角**(夕方、西の空付近)
とうほうさいだいいりかく ☆3
- 1月 12日 **火星と地球が最接近**
- 2月 15日 **金星が最大光度**(夕方、西の空付近)
こうど ☆4
- 3月 24日 **土星の環の消失**(環を真横から見る)
- 4月 27日 **金星が最大光度**(明け方、東の空付近)
こうど ☆4
- 5月 7日 **土星の環の消失**(環に日照が無くなる)
- 6月 1日 **金星が西方最大離角**(明け方、東の空付近)
さいほうさいだいいりかく ☆3
- 8月 13日 **ペルセウス座流星群が極大**(極大5時頃。月明かりがあり悪条件)
りゅうせいぐん きょくだい ☆1 ☆2
- 8月 29日 **伝統的七夕**(旧暦の七夕)
でんとうてきなばた ☆1 ☆2
- 9月 8日 **皆既月食**(松本:1時26分頃~4時56分頃、食最大3時11分頃)
かいぎげつ ☆5
- 9月 22日 **土星がうお座で衝**
ちゅうしゅう ☆6
- 10月 6日 **中秋の名月(十五夜)**
ちゅうしゅう めいげつ ☆6
- 12月 14日 **ふたご座流星群が極大**(極大17時頃。月明かりが少なく条件は良い)
りゅうせいぐん きょくだい ☆1 ☆2
- 12月 31日 **すばる食**(23時頃) ※すばる食は3/5、8/16、11/7も起こる
すばるしょく ☆7



NASA/JPL/宇宙科学研究所



NASA/JPL/宇宙科学研究所

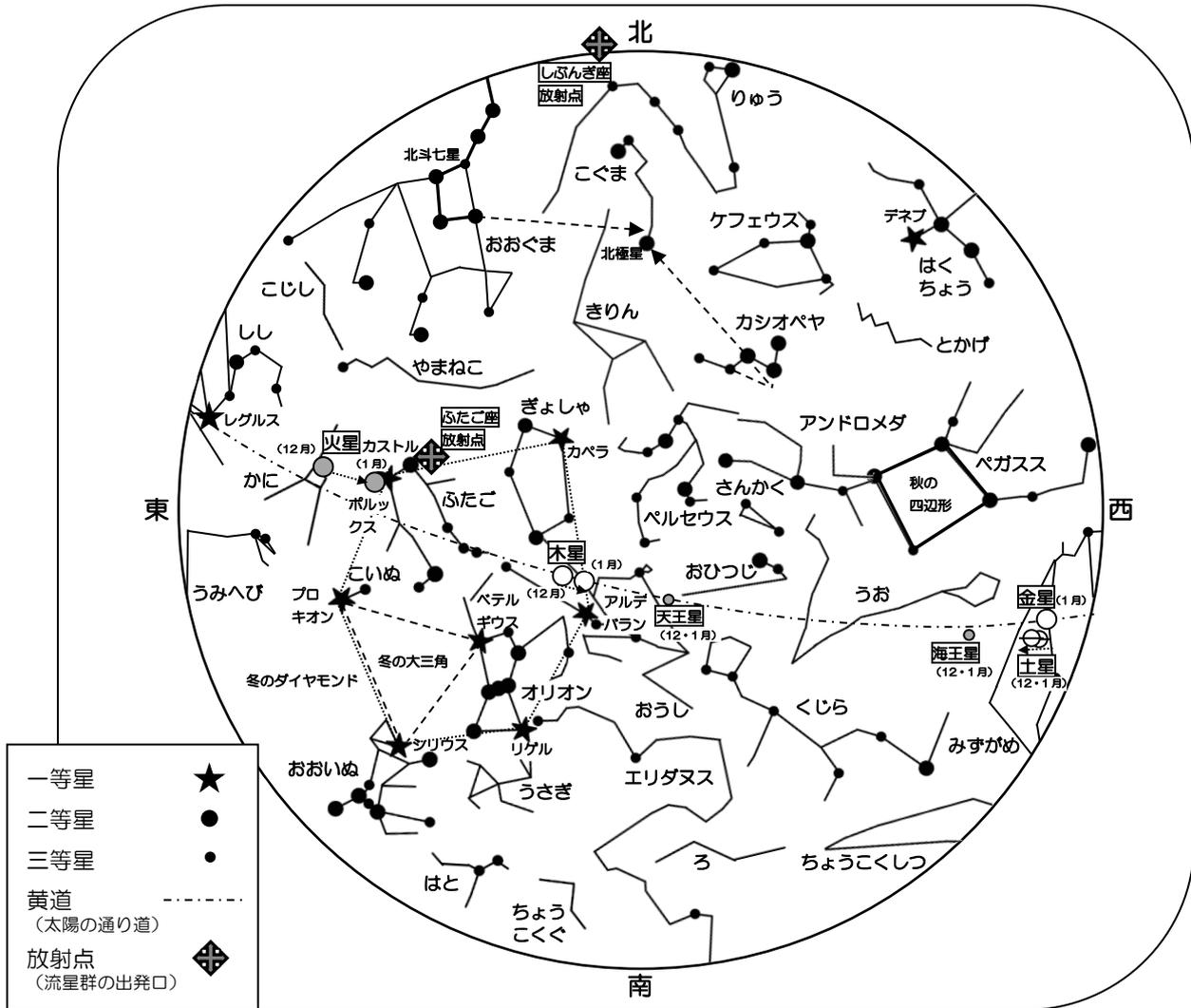
土星の環は非常に薄く、地球から見て環を真横から見る位置になると環が消えたように見えます。これを「土星の環の消失」と言い、約15年周期で起こる現象です。

天文情報中の天文用語

- ☆1 **流星群**→毎年決まった時期に、空の1点から流星が放射状に飛び出す現象。地上からは、特定の星座から流星が飛び出して見えるため、流星群ごとに星座の名前が付けられます。特に有名なのは、三大流星群と呼ばれる「しぶんぎ座流星群」「ペルセウス座流星群」「ふたご座流星群」です。
- ☆2 **極大**→天体の活動が最も活発になること。流星群の場合は、最も多く流星が現れる期間を指します。
- ☆3 **最大離角**→地球に対して、内惑星(水星と金星)が太陽から東、または西へ最も離れて見えるとき。地上から見る惑星の高度が大きくなるので、観測に適しています。東方最大離角の時は日没直後の西の空、西方最大離角の時は日の出前の東の空で惑星が見えます。
- ☆4 **光度**→地球から見たときの天体の明るさ。最大光度のときに最も明るく見えます。
- ☆5 **月食**→月が地球の影に入り込む現象。月が地球の濃い影(本影)に入り込み、月全体が暗く赤黒くなったように見える時は「皆既月食」となります。月食は満月の日に起こります。
- ☆6 **衝**→外惑星(火星、木星、土星、天王星、海王星)が地球を挟んで太陽と正反対の位置にあること。このとき惑星は一晚中観測でき、大きく明るく見えます。
- ☆7 **食**→惑星や恒星が月や他の天体によって隠される現象。「○○(隠される星の名前)食」と呼ばれます。多くは月によって隠されることを指します。

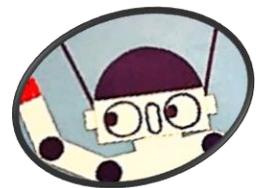
季節の星空

松本(12月中旬 22 時頃 / 1月中旬 20 時頃)



12月・1月の主な天文情報

- 12/1(日) 新月
- 5(木) 細い月と金星が並ぶ (日没後、南西の空)
- 8(日) 土星食 (松本: 18時23分頃~18時54分頃) / 木星がおうし座で衝
- 9(月) 海王星食 (松本: 17時22分頃~18時27分頃)
- 14(土) すばる食 / ふたご座流星群が極大 (極大 10時頃、出現期間 12/4~/20頃)
- 15(日) 満月 / 月と木星が並ぶ (ほぼ一晩中 ※前日 14日も並ぶ)
- 18(水) 月と火星が接近 (19時30分頃~翌19日の日の出前)
- 21(土) 冬至
- 25(水) スピカ食 / 水星が西方最大離角 (日の出直前、南東の低空)
- 31(火) 新月
- 1/1(水) 初日の出 (松本: 6時59分頃)
- 3(金) 細い月と金星が並ぶ (日没後、南西~西の空)
- 4(土) しぶんぎ座流星群が極大 (極大 0時頃、出現期間 1/1~1/7頃)
月と土星が並ぶ (日没後~21時頃)
- 10(金) 金星が東方最大離角 (日没後、南西~西の空)
- 11(土) 月と木星が並ぶ (日没後~翌4時頃 ※前日 10日も並ぶ)
- 14(火) 満月 / 月と火星が並ぶ (ほぼ一晩中)
- 17(金) 火星がふたご座で衝 (12日に火星と地球が最接近)
- 19(日) 金星と土星が接近 (日没後、南西~西の空)
- 29(水) 新月



★ 天文用語については、表紙に
★ くわしく書いてあるよ! 見てね! ★

☆☆☆ プラネタリウム 12月・1月イベント投映のご案内 ☆☆☆

※当日受付(先着順)です。投映開始 10 分前から受付・入場を開始します。途中入場はお断りしておりますので、余裕をもってお越しください。記載がなければ、定員 60 名、観覧料無料となります。
※最新の情報は、市公式ホームページ、X などをご覧ください。

☆スペシャルコンテンツ フラネで星空音楽館 12/7(土) 14:45~15:30

プラネタリウムの星空と音楽のコラボレーションをお楽しみいただきます。
今回のテーマは「煌めく星の謡」。音楽と星空と演出をご覧ください。

☆観覧料：高校生以上 520 円（各種減免あり）・中学生以下無料

☆ちよこっとプラネタリウム 親子 ①12/14(土)・②1/18(土) 各回 14:45~15:05

小さなお子さま向けのやさしいおはなしや星座番組の投映をします。お子さまとやりとりしながら進める、ライブプラネタリウムです。どなたでもご参加いただけます。

☆テーマ：①12月「おひつじ座・ふたご座と12月の星空」
②1月「おうし座・ふたご座と1月の星空」

☆コラボプラネタリウム ①12/15(日)・②1/25(土) 各回 14:45~15:30

他施設や著名な方と共に行う、プラネタリウムとのコラボ企画です。

☆テーマ：①12月「松本城プラネ」松本城研究専門員の小山淳一先生とのコラボ
②1月「カノーブストークライブ」MG プレス写真記者の丸山祥司さんとのコラボ

☆ちよこっとプラネタリウム ステディ 12/13(金)16:30~16:50・12/21(土)14:45~15:05

学校で学習する内容を散りばめた投映です。月ごとにテーマが変わります。
小中高大に通う方や教育関係者はもちろん、どなたにもご参加いただけます。

☆テーマ：12月「星の並び方や位置は変わらないの？」

☆地域感謝プラネタリウム～年末ゆく年フラ～ 12/27(金) ①11:00~11:45 ②13:00~13:45

地域の方々を始め、皆さまに日頃の感謝を込めた年末だけの特別投映。松本市景観などのドーム映像を入場時に流します。

☆内容：①スージーとくらの創作プラ&マッさんのライブプラ
②市内小学校5年生制作の時空トラベルプログラミング作品発表
&池ちゃんとパイセンの2024年ふりかえり

☆地域感謝プラネタリウム～新春特別フラ～ 1/5(日) 14:45~15:30

地域の方々を始め、皆さまに日頃の感謝を込めた新春だけの特別投映。松本市景観などのドーム映像を入場時に流します。

☆内容：パイセンとみづ吉の2025年注目の天文現象

☆震災特別プラネタリウム 1/11(土) 14:45~15:30

昨年の能登半島地震、そして阪神・淡路大震災から30年の節目に合わせて、仙台市天文台制作の震災特別番組「星よりも、遠くへ」を投映します。震災や自然に改めて向き合ってみましょう。

☆ちよこっとプラネタリウム ベビー 1/15(水) 11:30~11:50

乳幼児とご家族向けに、気がねなくゆったりと星空を眺めていただきます。
泣いても大丈夫、途中で出ても大丈夫。安心してご覧ください。

☆チャレンジプラネタリウム 1/26(日) 14:45~15:15

プラネタリウムを生かした市民による活動発表の場です。各回内容が異なります。
今回は市内在住のデュオ「COULEUR DUO」によるピアノとサックスの生演奏です。

ご利用案内(12月・1月)

12/27(金)・1/5(日)は無料の地域感謝プラ!
 くわしくは見開きのページをご覧ください。

【放映内容】…各回約 45 分(イベントプラは終了予定時間が変わります)

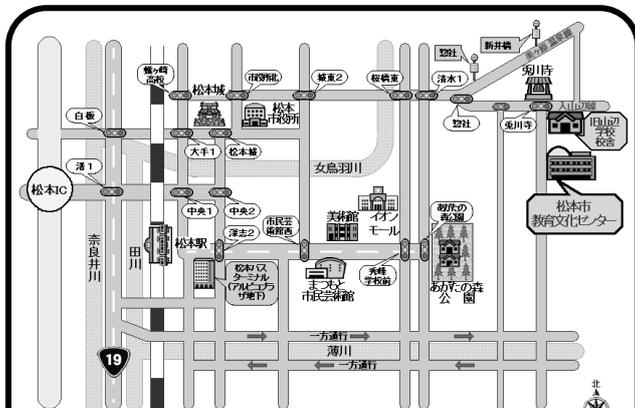
放映日	1回目	2回目	3回目	4回目
土曜日 日曜日 祝日	10:00~10:45 (ファミリー向け①) 【ライブプラ&番組】 ライブプラ(星空生解説) 《12月》まほうつかいリリイ せいざをさがしに 《1月》はるちゃんとほしの どうぶつえん	11:15~12:00 (全世代向け科学番組) 【ライブプラ&番組】 ライブプラ(星空生解説) 新オーロラを見た恐 竜たち 虹色に輝くア ラスカの大地	13:30~14:15 (ファミリー向け②) 【ライブプラ&番組】 ライブプラ(星空生解説) 忍たま乱太郎の宇宙 大冒険 ブラックホール で危機一髪! ?の段	14:45~ (全世代向け/イベントプラ) 【ライブプラ】 オールライブ☆プラネ タリウム(星空生解説) 季節の天文イベントを7名の スタッフがバラエティー豊かに お伝えします。内容については 公式 X でお知らせします。
平日	11:30~11:50 《1/15(水)》 ちよこっとプラネタリウム ベビー(20分) 詳細は中ページのイベント案 内をご覧ください。	16:30~16:50 《12/13(金)》 ちよこっとプラネタリウム スタディ(20分) 詳細は中ページのイベント案 内をご覧ください。	【希望プラネタリウム】 ★団体 10 名以上でご希望の 日時による放映も行います。 ★事前打ち合わせをお願いし ております。お電話にてお 問い合わせください。 ★ご希望の日時にお受けでき かねる場合もございます。	※以下の日はイベントプラです くわしくは見開きのページをご 覧ください。 12/7(土)・14(土)・15(日)・ 21(土) 1/5(日)・11(土)・18(土)・ 25(土)・26(日)

【観覧料】

高校生以上(個人)	520 円
高校生以上 (団体 20 名以上)	410 円
中学生以下	無料

- ☆博物館パスポート 1 枚につき、保護者 1 名無料
- ☆転入世帯優待券 1 枚につき、1 世帯家族無料
- ☆障害者手帳持参により、
本人とその介助者 1 名無料
- ☆市内4大学・専門学校新入生は、
博物館パスポートか学生証持参により本人無料
- ☆市内在住 70 歳以上の方は無料
- ☆その他減免あり(お問い合わせください)

【アクセス】



【交通案内】

- 〈バス〉 松本バスターミナル 3 番のりばより乗車
美ヶ原温泉線 新井橋で下車 徒歩 15 分
- 〈車〉 長野自動車道松本 IC より約 20 分
駐車場 60 台 (無料)

この紙は、市役所で発生した使用済古紙を製紙機で再生したものです。

【天文ミニ解説】

〈12月は食、1月は火星〉

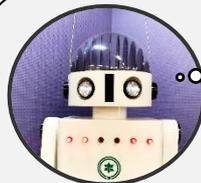
12 月は月が天体を隠す「食」が続けて発生します。12/8 (日)の土星食、9(月)の海王星食、14(土)のすばる(おうし座の散開星団)食、21(土)のスピカ(おとめ座の 1 等星)食です。

このうち、特に注目すべきは 12/8 の土星食です。土星の明るさが肉眼で見られる 1.0 等級であること、夕方 18:23~54 頃に起こることなど、良い観察条件となっています。8 日は上弦手前の月で明るく、土星の潜入と出現が見づらいかもしれないので望遠鏡や双眼鏡を使うと良いでしょう。その他、海王星食は肉眼では見えず、すばる食とスピカ食は明け方の 3 時以降と見づらい時間帯に起こります。

1 月になると、かに座からふたご座に移動した火星が目立つようになります。1/12(日)には約 2 年 2 か月ぶりに地球と火星が最接近、この時、特に火星が明るさを増します。火星の軌道は楕円形のため、最接近時の地球との距離は毎回異なります。今回の接近は約 9600 万 km とやや遠めで、明るさは最大で-1.4 等級となります。



すばる (プレアデス星団)
 今回は見づらいですが、来年はすばるの食を見るチャンスが 4 回あります。



次号は 2 月 1 日(土)頃
発行予定です。

センター マスコットキャラ
じゃんけんロボット

松本市教育文化センター
〒390-0221 松本市里山辺 2930-1
TEL:0263-32-7600 FAX:0263-32-7604
E-mail: kyoubun@city.matsumoto.lg.jp



公式 HP もみてね